

令和6年度 学校評価アンケート結果

令和7年2月25日
柏市立高柳西小学校

1 アンケート結果

R6 学校評価アンケート結果 (高柳西小学校)		自己評価					
90%以上 60%未満		児童		保護者		教職員	
地域の様子	①【児童生徒】 地域の子どもたちは、生き生きと学習活動に取り組んでいる。			81.5%	-5.5%	100.0%	0.0%
	②【児童生徒】 地域の子どもたちは、学校行事に意欲的に取り組んでいる。			91.8%	0.7%	95.7%	-4.3%
	③【児童生徒】 地域の子どもたちは、自分から進んであいさつをしている。			37.0%	-16.4%	43.5%	-26.5%
	④【児童生徒】 地域の子どもたちは、学校(校則)や社会のルール・マナーを守って生活している。			78.8%	-6.2%	100.0%	10.0%
	⑤【教職員】 地域の教職員は、生き生きと仕事をしている。			78.3%	-3.1%	95.7%	-4.3%
	⑥【学校】 地域の学校は、働き方改革に取り組んでいる。			69.6%	-0.9%	95.7%	15.7%
	⑦【学校】 地域の学校の校舎・校庭は、整備されている。			83.2%	-1.3%	91.3%	-3.7%
	⑧【学校】 地域の学校は、情報の発信に努めている。(たより、ホームページ、Sigfy等)			89.7%	-4.6%	100.0%	0.0%
	⑨【地域】 地域・保護者・学校が、連携して教育活動を行っている。			79.3%	-6.7%	100.0%	5.0%
	⑩【地域】 地域は、登下校の安全が確保されている。			72.3%	-12.7%	100.0%	0.0%
子どもたちの様子	①【学習】 自分から進んで、学習に取り組んでいる。	85.0%	1.4%	53.2%	-16.2%	71.4%	-13.6%
	②【学習】 学校行事に意欲的に取り組んでいる。	91.1%	0.5%	92.5%	-1.8%	100.0%	0.0%
	③【学習】 ICT(パソコンやプロジェクター)を、効果的に学習に活用している。	92.0%	0.6%	67.7%	-5.3%	85.7%	-4.3%
	④【学習】 自分から進んで、読書をしている。	68.1%	-5.3%	30.6%	-24.3%	66.7%	6.7%
	⑤【生活】 友達と仲良く、協力して活動している。	96.7%	0.6%	89.2%	-1.9%	100.0%	5.0%
	⑥【生活】 学校や家庭の約束を守って生活している。	94.4%	1.8%	83.9%	-1.6%	95.2%	0.2%
	⑦【生活】 困ったことを誰か(先生、友達、家族、地域の人など)に相談している。	68.5%	-7.1%	79.6%	6.5%	100.0%	10.0%
	⑧【生活】 いじめをしない、いじめを見逃さないようにしている。	94.8%	1.5%	84.9%	16.0%	100.0%	5.0%
	⑨【健康】 進んで体を動かしたり、運動したりしている。	81.7%	-1.1%	67.7%	-15.7%	95.2%	10.2%
	⑩【健康】 校内、校外ともに、けがや事故に注意して生活している。	90.6%	-1.9%	85.5%	4.1%	100.0%	20.0%

186件(91.6%)の回答をいただきました

2 結果から

本校の子どもの強みは、主に行事への意欲、あったかさ(仲よし、協力)
 本校の子どもの弱みは、主に 挨拶、読書、主体性と言えるでしょう。

【強み】

「問② 学校行事に意欲的に取り組んでいる」, 児童 91.1%, 保護者 92.5%, 教職員 95.7%

「問⑤ 友達と仲良く協力して活動している」 児童 96.7%, 保護者 89.2%

➡ 児童、保護者、地域ともに、肯定的な回答が多かった項目です。本校の特色として、自信を持って良いと考えます。引き続き、「あったかやなぎ」な子どもたち、また、行事に燃える子どもたちを育てていきたいです。

【弱み】

「問③ 地域の子どもたちは、自分から進んであいさつをしている」

保護者 37.0%(前年比-16.4%), 教職員 43.5%(前年比-26.5%)

「問④ 自分から進んで読書をしている」 保護者 30.6%(-24.3%), 児童 68.1%(前年比-5.3%)

「問① 自分から進んで学習に取り組んでいる」 保護者 53.2%(-16.2%), 児童 85.0%(前年比+1.4%)

➡ 特に保護者からの肯定的な回答が大変少なく、前年度からも評価が下がっている項目です。これらの結果を学校運営協議会委員に公表し、以下のような意見をいただきました。

・挨拶に関しては、まずは家庭での習慣づけが大事。また、大きな声で元気に挨拶することが苦手な子もいるので、会釈や小声でもコミュニケーションになっていれば良いのではないかと。

・読書に関しては、子どもが忙しすぎるのか、タブレットの普及のせいかなど、原因を分析してみてもどうか。

・これらの結果は、先生たちと家庭と地域で「次に何に取り組もうか」と、一緒に考えるきっかけとしよう。

ご協力いただきありがとうございました。今後の学校運営に活かしてまいります。